

後援会ニュース

No.33 (平成七年)

社会福祉法人鶴風会 後援会

東京都武蔵村山市学園4-10-1
☎0425-61-2521
事務所・東京都中野区
本町2-15-13 ☎03-3372-7650

これまで約六年間撮り続けてきた作品を、写真集として一つにまとめ発表することになりました。

写真を撮り始めたきっかけは自分の考えている事、障害がある為の悩みや嬉しさを表現したり、心の葛藤を世間に訴える事が出来るのではないかと始めました。写真だけでなく、自作の詩も添えて自分の悩みや感動したことを一人の人間としての存在を伝えていきます。（写真集より引用）



さ寿園通れ子今号が東京小児療育病院・みどり愛育園医務部長舟橋満練部に通園の前田邦彦さんとの詩と写真をみどりせ愛育當皆場来春の完成を目指して第二期工事の進む本病棟の大震災罹災地の現苦労に心から御見舞申し上げます。

「子供の療育相談」雑感

舟橋満寿子

NHK教育テレビの『子供の療育相談』は、発達につまづきのある子供達を育てる人々を対象とした番組です。五年前にこの番組にかかわるようになってから何回かシリーズを受け持つことになりました。昨年秋には『障害の重い子と共に』といふテーマで番組が組まれ沢山の御家族の御協力で何とか無事に終了することができました。

テレビぎらいの私がこんな事になったのは『困った時、東京小児に行けば何とかなる』と、番組スタッフに思い込ませてしまつた、たくましい子供達や御両親のおかげだと思っています。実際スタッ

の方々から『とても明るいですね。子供も親も、職員も皆さん』『ここに来ると何かほっとする』『いつ来ても何かやついて、こんなに柔軟に考えればいいんだ…』と思います。毎日来たらいい番組がつくれそう』などという言葉がきかれました。

確かにまわりを見回すと『重い障害』という言葉につぶされない積極性と柔軟性とやさしさをもつた御家族の何と沢山おられること、通う前田君でした。24才の彼は、ここ2年程の間に何回か体調を崩か一。一人の子供との出会いから、少しでもそこやかな発達を願つて

仲間



出合いの時の緊張、心のひだを察し切れずに失敗したこと、親がそして子供自身が障害の状況をうけとめるまでの長い曲折した道のり。その中には私自身の治療上の挫折なども含んで、あの時こんな事を教えられたのだと沢山の場面が思い出されます。

今回の番組で出て下さった方の中では最年長は、『通園でなくて』に通う前田君でした。24才の彼は、

ここ2年程の間に何回か体調を崩して今では夜眠る時は人工呼吸器を使って生活しています。その彼が悩みや心の葛藤、感動したこと、

うれしさなどを伝えたいという気持ちは始めて』という彼の言葉でもわかるように、写真が心の支え

が更に集中して作品を作り続け、成長し続いている事が実感できます。

『人生でこんなにわくわくしてい

ました。そして人の輪が広がり、

『前田邦彦写真展』も成功し、彼今、彼の詩と写真をご紹介します。

前田邦彦



障害

障害ってなんだろう

生きていく中の害なのか

それとも理由があつて

障害を持つて生まれてきたのか

誰かにきけば

こんなモヤモヤは晴れるかも……

障害の重さに

押しつぶされそうな日は

誰かと会つたり

何かをしてないと怖くなる

障害を持つている人は

似た経験をするのだろうか

こんな気持ちは

何時まで続くのかな……

1990.7.30

今ここに

子供の頃から見えないものにな
なやまされ傷つき
泣き暮れた夜もたたずんでいた

そんな時でもこの街は
いつも何をいわずに
みつめているだけだった

でも ここにいることの
むずかしさ すばらしさを

おしゃてくれたこの街
今ここにいたい 何があつても
自分の力を信じて明日に向かって
強く生きて行くために

1989.10.27



かがやく時

世の中で生きているものすべては

いのちの光につつまれてゐる

それぞれがかがやく時を

知つてゐるかのように

光を放つ時がくる

目標に向かつて生きてゆく時や
人間ならば

虹の光のような色たちがいい

目にまぶしい光をはなち

自分の存在を知る

1994.12.4

大空

野原にねそべって大あくび
すいこまれそうな大空に向かつて

『生きてるぞ!』と大声で
つまづいて悩んでいることが
笑えるほど小さく感じた

旅の空

1994.11.30



大空にはばたく

彼の纖細でひたむきな心に圧倒される
でしょう。そして援助するといながら、
教えられているのは私達の方であること
に気付かされます。

障害がある時治療は勿論ですが子供・
親の仲間づくり・生きがいづくり・ゆとりづくり、そういう地域づくりのお手伝
いをするのも私達の仕事の一部です。東京小児がその核になり、放送が色々な地
域での核づくりのきっかけになるよう
願っています。

本病棟の建設現場（来春完成予定）

☆御寄附振込方法☆

後援会ニュースと合わせて
郵便局の振込用紙のみを同封
致しておりますが、銀行の方
が御便利の方は下記へお願ひ
致します。

- 三菱銀行中野支店
(店番151)
 - 普通預金
 - 口座番号 4107235
 - 口座名
社会福祉法人鶴風会後援会



♥ チャリティ・バザールへのお願い ♥

日 時 平成 7 年 11 月 12 日 (日) 予定 場 所 東京小児療育病院通園棟多目的ホール及び院庭

昨年のチャリティ・バザーには、多くの方々や協賛会社の御支援によりまして、600万円余の純益をあげる事ができ、誠に有難く、施設の全面改築の資金の一部として大切に役立たせて戴きます。厚く御礼申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ致します。食料品、調味料、酒類、石鹼、洗剤、陶、漆品、文房具、書籍、衣料品（新品又は新品に近いもの）など御寄贈をお願い申し上げます。

- 御寄贈品は既に受付ております。
○連絡先 病院 武蔵村山市学園4-10-1 ☎ 0425(61)2521
後援会 東京都中野区本町2-15-13 ☎ 03(3372)7650

♣ 第7回チャリティ・パーティ コロニスの会への御誘い ♣

第6回コロニスの会は、昨秋、帝国ホテルに600余名の皆様がお集まり下さり、盛会裡に400万円の純益をあげる事ができました。一重に、ご協賛下さいました企業、御参集の皆様の御厚情の賜物と一同感謝致しております。益金は施設の建替資金として大切に役立たせていただきます。本年も すてきな会を 企画しております。

年末のお忙しい時期ではございますが、お誘い合わせ、御参加下さいます様、お願ひ申し上げます。

日 時 平成7年12月13日(水) 連絡先 鶴風会後援会 コロニスの会
場 所 帝国ホテル(孔雀の間) 夕刻より 東京都中野区本町2-15-13
予定人員 600名 ☎03(3372)7650

鶴風会後援会「寄付者」芳名

平成六年八月、七年一月
延五二四名（敬称略）

